

9月1日（金） 始業式

残暑厳しい中、新学期が始まりました。元気な生徒たちが学校に戻ってきて、ひさしぶりに体育館に勢ぞろいしました。「学校長の言葉」の要旨は以下のとおりです。

今日9月1日は防災の日です。危機管理ということは今一度考えてみましょう。今、真っ先に気になるのは、何といたっても熱中症対策です。みなさんは、校内に掲示されている暑さ指数をチェックしていますか。正しく情報を入手し、正しく判断して、行動できていますか。

さて、人は人生の様々な場面で、決断を迫られます。3年次は進路決定、1・2年次は科目選択、進路意識をもつことなどです。決断することは大変なことです。いろいろ調べて、とことん考えて、決断しましょう。物事にはメリットとデメリットがあります。何かを選ぶことは何かを捨てることでもあります。その結果、後悔はつきものです。仕方のないことです。でも、人は今、置かれている状況からしか考えられないのです。世に典型例というものがあります。でも勇気を持ってこれを打ち破れば、新しい分野が開けるかもしれません。人は日々成長します。様々な学びや経験をとおして、視野を広げることが大切です。

始業式に続いて、表彰伝達を行いました。男女ソフトテニス部、バドミントン部、吹奏楽部が夏休み中の大会での表彰を受けました。また、「人権文化をすすめる町民運動」で、標語、ポスターで参加した6名が優秀賞の表彰を受け、「青少年のための科学の祭典」でユニークで意欲的な出展をした2団体が、主催者より感謝状を受けました。その他、兵庫県高等学校独唱独奏コンクールピアノ部門で審査員特別賞を受賞した生徒もいて、それぞれ充実した夏休みだったことがうかがえます。



